



趣旨

鹿児島大学は国際島嶼教育研究センター奄美分室を中心にして、奄美の海や陸での生物多様性についてのプロジェクト研究を行なっています。研究の成果を知っていただくとともに、奄美のすばらしい自然を皆さんと一緒に楽しみたいと思い、干潟の観察会を企画しました。奄美市住用干潟に生息する様々な生物を観察採集し、それらの生物を室内で観察します。

住用干潟はマングローブ林から海につながる干潟で、カニ類を代表に多くの生物が生息しており、小さなお子さんでも比較的安全に生物の観察ができます。

この自然観察会を通して、奄美の自然の豊さや大切さを考えるきっかけになればと思います。

1. 主催

- 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室
- 「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点整備」プロジェクト

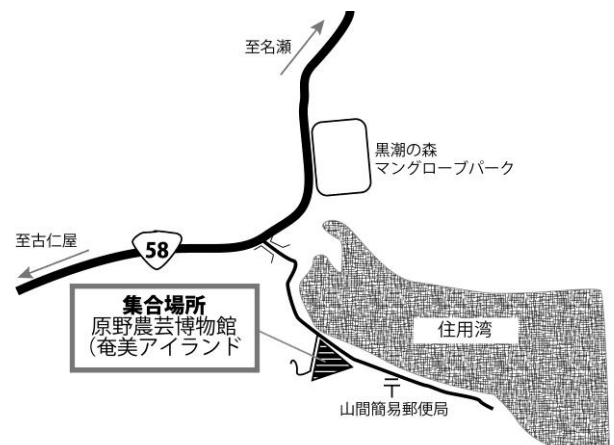
2. 講師

- 鈴木廣志（鹿児島大学水産学部教授）
- 山本智子（鹿児島大学水産学部准教授）

3. 実施日時

- とき：平成 27 年 9 月 26 日（土）9 時 30 分-13 時
（昼食時間は含みません）
- 観察会対象干潟：住用干潟
- 集合場所：鹿児島県奄美市住用町大字山間 811-1
- 原野農芸博物館（現地集合・解散）

（詳細：裏に続く）



4. 募集定員等

- ・ 対象：小中学生と保護者
 - ・ 定員：小中学生 20 名
- ※ 小学生は 1 グループ（ご兄弟でも友人同士でも）につき 1 名以上の保護者をご参加下さい。中学生は単独で参加できます。
- 募集締め切り：9 月 16 日（水）まで
- ※ 申し込みは先着順で受け付け、小中学生の申し込みが 20 名になり次第締め切らせていただきます。
- ・ 参加費：無料

5. 持ち物等

- ・ 服装：ぬれても汚れてもいい服（薄めの長袖長ズボンがお奨めです）と靴（古い運動靴など、ビーチサンダルは不可）
 - ・ 持ち物：筆記用具（色鉛筆もあると便利です）、帽子、水筒（飲料水）、タオル、虫よけスプレー・日焼け止め（必要な場合）、着替え
- ※ 小型のスコップ（移植ごて）、タモ網、カメラ（防水対策が必要）があればお持ち下さい。
- ※ 荷物は干潟に持って行けるよう、リュックなどにまとめてください。

6. 申し込み方法

以下の項目をお電話でお知らせください（グループでまとめてどうぞ）。

- ・ 参加する小中学生の氏名・学年
 - ・ 保護者の氏名
 - ・ ご住所又はメールアドレスか Fax 番号（予め資料をお配りする場合があります）
 - ・ 緊急連絡先（天候による開催の変更などをお知らせできる電話番号）
- ※JA のイベント共済に加入します。予め申し込みのない方はご参加頂けませんので、ご注意ください。

7. 申し込み・お問い合わせ先（9：00-16：00）

- ・ 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室 TEL：0997-69-4852（担当：藤井・鈴木・福澤）
- ※ 少雨決行、悪天候の場合は中止となります。